

# クロム活用シート

## 5年 算数科

### 1. 単元名『面積』

### 2. 本時の評価規準

- ・台形の面積の求め方を、求積可能な図形の面積の求め方を基に考えている。 **【思考力・判断力・表現力等】**
- ・求積可能な図形に帰着させて考えると面積を求めることができるというよさに気づき、台形の面積を求めようとしている。

**【主体的に学習に取り組む態度】**

### 3. 指導計画

	学習活動	ICT 活用場面
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の振り返りをする (三角形・平行四辺形の面積の公式)</li> <li>・〈台形の面積を求めるには?〉</li> </ul>	<b>A1</b> フラッシュカードにして復習できるようにした。
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台形の面積を求めましょう</li> </ul> <p><b>対角線で2つの三角形に分ける</b></p> <p>C1つの三角形の底辺は3cm, 高さは4cmなので, 面積は<math>3 \times 4 \div 2 = 6</math>, もう一つの三角形が底辺が9cm, 高さが4cmなので面積は,<math>9 \times 4 \div 2 = 18</math>, 2つの三角形の面積を合わせて<math>6 + 18 = 24</math>なので<math>24 \text{ cm}^2</math>になる</p> <p><b>合同な台形を2つ合わせて平行四辺形にする</b></p> <p>Cできた平行四辺形の底辺は12cm, 高さは4cmなので, 面積は<math>12 \times 4 = 48</math>です。台形はその半分なので<math>48 \div 2 = 24</math> 答えは<math>24 \text{ cm}^2</math>になる。</p> <p><b>切って回して合わせる</b></p> <p>C切ってできた平行四辺形の面積は底辺が12cm, 高さは2cmなので,<math>12 \times 2 = 24</math> 答えは<math>24 \text{ cm}^2</math>になる。</p>	<b>B1</b> <b>C1</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オクリンクプラスを使い自分の考えを他者参照できるようにし、活発な交流の手立てにする。</li> <li>・個人の考えを一括で見ることができ、マイスタで誰と誰をつなげるかの手立てにする。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習の振り返りをしましょう。</li> <li>C求められる図形にすると求めることができた。</li> </ul>	
終末		

・台形は3つの長さが必要であると分かった。

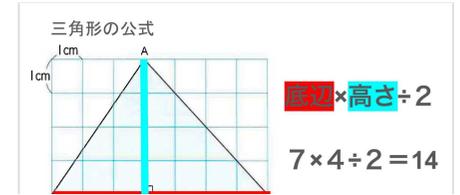
### 4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

II	思慮力・ 判断力・ 表現力等	I	問題解決・探究における情報を活用する力（プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む）
		①	必要な情報を収集、整理、分析、表現する力
			目的に応じた情報メディアを選択し、調査や実験等を組み合わせながら情報収集し、目的に応じた表やグラフ、「考えるための技法」を適切に選択・活用し、情報を整理する

#### A1 教師による教材の提示

使用するアプリ等 「Google スライド」

活用の流れ
① これまでの流れをフラッシュカードのようにし、復習する。

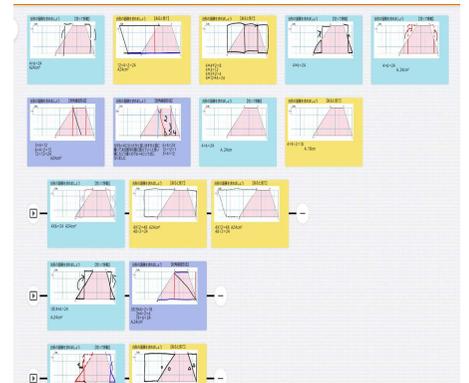


#### B1 個に応じる学習

使用するアプリ等 「オクリンクプラス」

活用の流れ
① 各個人で、面積の求め方を考え、ワークシートに書き込む。
② 同じ考えの人同士や違う考えの人同士で話し合い、考えを深める。

#### C1 発表や話し合い



#### 活用の効果

面積の求め方の方法を色分けすることで交流の際に、自分の考えと比較しやすかった。また教師の見取りもやりやすく、子ども同士をつなげる手立てとなった。